

リサイクル計画書（積算段階）

施 改 8 ・ 9 第 7 号

1 設 計 概 要

作成出来ない理由	①緊急工事等 ②3,000千円以下の仮配管工事 ③その他(下記)
----------	----------------------------------

事 務 所 名	施設整備センター	工 事 名	都計道関連園生給水場4号配水池撤去工事
工 事 場 所	千葉市稲毛区園生町253 園生給水場内	工 期 (予 定)	令 和 8 年 11 月 ～ 令 和 9 年 12 月
工 事 概 要 等	本工事は、園生給水場更新事業のうち、千葉市の都市計画道路事業に支障となる配水池を解体・撤去をするものである。		

2 建 設 資 材 利 用 計 画

建 設 資 材	① 利 用 量	② 現 場 内 利 用 量	③ 再 生 材 利 用 量	④ 新 材 利 用 量	⑤ 再生資源利用率 (②+③)/①×100	備 考
土 砂	11439.6 地山m3	4896.2 地山m3	6543.4 地山m3	地山m3	100 %	
砕 石	トン	トン	トン	トン	%	
アスファルト混合物	トン	トン	トン	トン	%	
	トン	トン	トン	トン	%	

※ 最下段には、その他の再生資材を使用する場合に記入する。

3 建 設 副 産 物 搬 出 計 画

指定建設副産物の種類		⑥ 発 生 量	⑦現場内利用量 (減量化量)	⑧ 他工事への 搬出量	⑨再資源化施設 への搬出量	⑩ストックヤード への搬出量	⑪ 現場内利用率 (⑦/⑥) ×100	⑫ 有 効 利 用 率 (⑦+⑧+⑨+⑩)/⑥x100	備 考
建設発生土	第1種建設発生土	地山m3	地山m3	地山m3	地山m3	地山m3	%	%	碎石
	第2種建設発生土	地山m3	地山m3	地山m3	地山m3	地山m3	%	%	
	第3種建設発生土	4896.2 地山m3	4896.2 地山m3	地山m3	地山m3	地山m3	100 %	100 %	土砂
	第4種建設発生土	地山m3	地山m3	地山m3	地山m3	地山m3	%	%	埋立処分
	泥土（浚渫土）	地山m3	地山m3	地山m3	地山m3	地山m3	%	%	
	合 計	4896.2 地山m3	4896.2 地山m3	地山m3	地山m3	地山m3	100 %	100 %	
コンクリート塊		3746.3 トン	トン	トン	3746.3 トン	—	%	100 %	CO
アスファルト・コンクリート塊		6.4 トン	トン	トン	6.4 トン	—	%	100 %	
建設発生木材		トン	トン	トン	トン	—	%	%	
建設汚泥		トン	トン	トン	トン	—	%	%	
建設混合廃棄物		トン	トン	トン	トン	—	%	%	

※ 建設発生土の区分（既存資料から判断するものとする。）

①第1種建設発生土…砂、礫及びこれらに準ずるもの。

②第2種建設発生土…砂質土、礫質土及びこれらに準ずるもの。

③第3種建設発生土…通常の施工性が確保される粘性土及びこれらに準ずるもの。

④第4種建設発生土…粘性土及びこれらに準ずるもの。（第3種建設発生土を除く。）

⑤第5種建設発生土…浚渫土のうち概ねコーン指数値が2以下のもの。

※「⑩ストックヤードへの搬出量」には、他工事に再利用されることが予定される場合のみ記入する。

※「他工事」には、他機関の公共工事や民間工事も含む。

※建設発生木材の中には、伐採除根材及び剪定材を含む。

※建設汚泥、建設発生木材の「⑦現場内利用」の欄には、上段に現場内利用、下段に現場内での減量化量を記入する。

リサイクル阻害要因説明書（当初・変更）

事務所名	施設整備センター	工事名	都計道関連園生給水場4号配水池撤去工事
工事場所	千葉県稲毛区園生町253 園生給水場内	工期	令和8年11月～令和9年12月
工事概要	本工事は、園生給水場更新事業のうち、千葉市の都市計画道路事業に支障となる配水池を解体・撤去をするものである。		

1. 建設資材利用計画

[] 内；目標値、 () 内；設計値 () 内；達成値	土	砂	※砕石	※アスファルト混合物
	[88 %]	[88 %]	[100 %]	[100 %]
	< 100 %>	< %>	< %>	< %>
目標値（設計値）を達成できない理由	(%)	(%)	(%)	(%)
再生材の供給場所がない				
再生材の規格が仕様に適合しない				
その他（下の括弧内に記入）				

その他

2. 建設副産物搬出計画

1) 建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊

[] 内；目標値、 () 内；設計値 () 内；達成値	※建設発生土	コンクリート塊	アスファルト・コンクリート塊
	[80 %]	[100 %]	[100 %]
	< 100 %>	< 100 %>	< 100 %>
目標値（設計値）を達成できない理由	(%)	(%)	(%)
他に再利用できる現場がない			
再利用できる現場の要求する規格に適合しない			
有害物質が混入している			
再資源化施設がない			
その他（下の括弧内に記入）			

その他

2) 建設汚泥、建設発生木材、建設混合廃棄物

[] 内；目標値、〈 〉 内；設計値 () 内；達成値	建 設 汚 泥	建設発生木材	建設混合廃棄物
	[%]	[%]	[%]
	〈 %〉	〈 %〉	〈 %〉
目標値（設計値）を達成できない理由	(%)	(%)	(%)
他に再利用できる現場がない			
再利用できる現場の要求する規格に適合しない			
有害物質が混入している			
再資源化施設がない			
その他（下の括弧内に記入）			

その他

注）それぞれの品目で、再生資源利用率及び有効利用率が、それぞれの目標値（設計値）に達しない場合は、該当品目の理由の欄に○印をつける。

理由の欄に該当するものがない場合には、「その他」の欄に○印をつけ、下の括弧内に具体的に記述する。

※アスファルト混合物は、アスファルト・コンクリート塊の目標値を、※砕石、※建設発生土は、土砂の目標値を準用する。

3. 上記（1. 2. ）の理由を下記に具体的に記述する。